

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいさぼーとmoana2（多機能型放課後等デイサービス）			公表日		2025 年 4 月 10 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・パーテーションを設置することで、バランスを取りやすくなった。 ・グループに分けて、仕切りで区切っている。 ・遊戯室、個別室と区切れるからよい。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	・それぞれが、全体を見渡せる位置に立つようにしている。 ・職員配置にゆとりあり。他部署との応援体制もとれている。	・宿題を早く終わった児童が退屈になる場合がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・視覚支援で、仕切り等遊びの場所、絵カードなどわかりやすい環境を構築している。 ・物の配置など、児童が行動しやすい動線や環境上の配慮を意識している。 ・2月末からパーテーションも設置し、運動する部屋と静的活動を行う部屋で分けられている。 ・視覚支援を取り入れている。	・段差などは少ないが、手すりはない。 ・職員が統一した支援をこなせないことがある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎朝の掃除で清潔を保てるように努めている。 ・児童がいない朝の時間帯を活用し、15分間清掃を行う。	・全職員での習慣化には至っていない。改善中。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別支援での場所の工夫をしている。 ・心身の状態や訓練、その他の相談を受けて使用することが出来る。	・防音の部屋等はないので児童が落ち着いて過ごせる部屋は現状ない。聴覚過敏な児童用に防音等のグッズや防音部屋があればいいと思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・職員間で振り返りを行っている。 ・担当職員が計画を立て、職員間での共有、実践、振り返りをその都度行えている。	・業務の振り返りや目標設定が出来ていない。職員同士の業務引継ぎもあいまいなので業務整理が必要。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者の意向を把握し、支援の見直しや改善につなげている。	・もっと保護者が本音で話せる機会を増やしていきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・ミーティングを行い、改善が必要が話し合いを持っている。 ・業務終了後、15分ほど職員間での振り返りと申し送りの時間を設けている。 ・朝や業務終了後にミーティングを行っている。	・職員での会議をもっと定期的に行っていきたい。 ・朝のミーティングの際にはパート職員がいないので、申し送りボード等の使用やSNS等で業務変更等あれば伝えることができるか。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		・外部講師等がないので、外部からの評価が得られない。 ・今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・職員が企画した研修や、外部の研修を伝え参加している。 ・研修を受講しやすい体制となっている。 ・受講したい研修が受けられる機会がある。（自己申告制）	・研修を受講する際に契約書を記載しないといけないことで、受講しにくさはあると思う。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・事業所が掲げている支援プログラムで公表されている。 ・毎月、保護者への配布を行っている。	・職員間で支援プログラムの共有（支援の目的や方法等）はしっかりとできていない。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・担当の児童アセスメントを取って計画を作成している。 ・児童と保護者のニーズを客観的に分析し、意向に沿った計画が作成できている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・支援内容を職員間で共通理解し、全職員で児童の成長に携わり、自立を目指している。	・職員によっては児童への考慮、統一した支援が行えていないこともある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・日頃から放デイ卒業や地域移行も視野に入れ、計画に沿った支援を心掛けている。	・パートタイム職員への共有がややできていないこともある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	・項目ごとに評価しやすい様式を作って対応している。	・アセスメントの際に標準化された評価（WEEFIMやJSI-R等）の使用がない。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・保護者の相談等、話を聞き管理者がアドバイス等を行っている。 ・契約の際に、保護者に「地域移行を目指し計画を立てている」ということを共通理解してもらい、目指すところをその都度すり合わせている。	・本人、家族支援中心に移行支援、地域移行が少し弱い感じがする。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	・活動内容を職員間で共有し、アドバイスしあう。 ・月の活動を事前に決めて行っている。 ・職員それぞれが勤務形態に合わせて担当を組んでいる。 ・中心となる職員を決めてチームや全体で共有し、実践している。 ・個々で考えて共有している。人の意見を取り入れたりもしている。	・立案は個人になってしまっているので、職員間で活動の目的や方法等を共有する必要あり。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・ネットや職員の引き出しを参考にしている。 ・日々の活動をいろいろ工夫し固定化しないように話し合いを持っている。 ・保護者や職員の要望等も取り入れながら工夫している。	・事業所だけでの支援内容に固執しすぎない。他事業所など見学し視野を広げている。		

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	・児童の心身の状態や支援環境として必要に応じて適宜組み合わせでいく。 ・個別活動は、状況や個人のやるべき支援を取り入れられている。	・人数が多いので、個別活動を頻繁にする機会を作るのが難しいが、2,3か月に1階くらいはプログラムに取り入れるように工夫。 ・集団での活動はあるが、個々の活動はない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・事前にリーダーから説明がある。パートタイマーにも出勤後伝え、周知を図っている。 ・月数回のミーティングはあるが、全体周知のツールとして、業務用の連絡メールはある。 ・ホワイトボードに内容を記入し、全職員で共有。 ・朝のミーティングで送迎等の確認や申し送りを行っている。 ・限られた時間の中で共有している。	・パート職員とのすり合わせが不十分ことがある。 ・レク活動に関しては担当職員1名、または2名体制であり、朝のミーティング前に活動の共有ができていない時もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・終わりのミーティングで振り返りが出来ている。 ・申し送りや、他職員のアドバイスをとり入れている。 ・情報共有や振り返りはその月で行い、全体で確認。 ・帰りのミーティングで申し送り等を行っている。	・あまりレクや支援体制の振り返りはできていないと感じる。 ・毎日ではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・Hugシステムでの記録を書き支援改善につなげている。 ・管理者や児発管が記録の確認を行い、改善点は全体共有している。 ・支援記録は毎日記載を行っている。	・定期的に職員の記録の書き方についてすり合わせが必要。 ・支援についての検証、改善はあまり行っていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・職員間で話し合いの機会を作っている。 ・職員間と専門員（OT）の意見を受け、見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	8	0	・余暇時間も、他者との関りが持てるように、みんなで話し合いをして決めるよう設定している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・他職員の声掛けの仕方やアドバイスが支援向上に役立っている。 ・自由遊びでは、児童を中心に遊び等を決めている。 ・児童自身が選択し決定できる機会を作るよう工夫している。 ・レク活動でもグループで別れて話し合いの場を設けたりと、自己決定できる機会を設けて対応している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・管理者もしくは児発管が児童の状態を計画に沿って報告している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・ケガしたときの病院受診のみ ・家庭や児童の状態によって迅速に連携が取れる体制を回数を積むことで整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・学校入時、どこで引き継ぐかなど、先生とやり取りをしている。 ・アプリのスクリーンにて情報を受け、必要であれば直接・または電話にて問い合わせを行っている。 ・スクリーン等を活用し、情報共有できている。	・半年前より改善されている気がする。学校と事業所側の報・連・相が出来てきているが、まだ改善していく。 ・急な下校時間の変更や、確認不足で送迎時間の適切な対応が出来ていない時もある。学校、保護者と連絡を取って対応できるようにしていく必要あり。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・家庭環境や児童の状態で連携が必要な時に相談員を中心に呼びかけている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・事業所を退所した際に必要に応じて情報提供している。 ・小学4年までの利用児童のみで現在はその様な対応はない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		・発達支援センター等との連携が取れていない。研修等も無い。 ・今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・児童館、地域の公園での活動、地域の行事への参加を行っている。 ・他事業所との交流会があれば参加し、以降に繋げている。 ・児童館へ遊びに行くこともある。	・地域の子どもの活動の共有、イベント等はできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	・出勤時間の関係上難しいが、職員や文書で伝えてもらっている。	・今後検討していく。 ・いつ実施されているのか不明。 ・参加しているかどうか不明。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・申し送りなどを通して話し合う。 ・本人の成長している部分や困り感について互いに伝え合い情報共有している。 ・保護者への申し送りは毎日している。	・帰りの申し送りの時のみでは話しきれない部分もあると思う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・2月に行われた親子レクなどの行事を通してできたと思う。 ・家族交流会の中で、勉強会の機会を設けることができた。	・今後検討していく。 ・年に1回は実施していきたい。 ・ペアトレ等の家族支援は行っていない。 ・親子登山等の機会をもう少し増やしていくといいと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・サービス利用時に重要説明事項に沿って話し合っている。 ・管理者、児発管が中心となって行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・個別支援計画で、家族の要望も確認している。 ・年に一回は個別面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・個別面談やモニタリング会議等を活用し、説明同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・毎年年度の初めごろに保護者面談を設け、ニーズの引き出しや相談の場としている。 ・管理者から助言等を家族に伝えている。 ・保護者からの相談を受け、会議や助言を迅速に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	・家族参加型のイベントを行った。（当初は親子登山を予定していたが、悪天候のため別イベントを実施） ・家族が参加できる活動、イベントを企画している。 ・保護者からの要望を受け、父母・兄弟同士の交流が1回できた。	・少なくとも毎年1回は交流会を実施したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・苦情にならない前に丁寧な対応（接し方）を心掛ける。	・委員会を中心にマニュアル化していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	5	・月の活動予定表を事前に保護者に渡していく。 ・玄関の内側にその月に行った行事や活動などの写真を貼って発信している。 ・事業所内で写真等による掲示はしている。 ・活動写真を玄関前に掲示したりしている。	・活動の写真は今後SNSやHugシステムを通して発信していきたい。 ・HPやSNSによる発信に至ってない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・事前に個人情報使用の同意書を交わし、それによって取り扱いを行っている。 ・個人情報同意書の記入をしてもらい管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	2	・児童、保護者の気持ちを汲み取りながら、伝達方法に気を付けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・事業所に招待はできていないが、地域交流でハロウィン時に職員の身内がお菓子を配りにきていた。 ・現時点ではまだ機会はない。だが、地域清掃などから始めている。	・地域住民を呼んでの行事を行ったことはない。どのようにしていくかも含め、今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルがあるもの、火災訓練、地震訓練などを行っている。 ・厚労省が進めている研修動画や資料を活用し委員会を中心にスタッフへの周知を行っている。	・マニュアルの周知、そこからの実際の訓練に不十分さを感じるので、定期的に行うようにする。 ・防犯についての訓練を行ったことがない。家族への周知も適切にされているわけではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・うるま市で実施していた訓練の中で、避難までの流れを職員間で確認した。	・BCPはあるが、それに伴った訓練の見直しが行われておらず、備えも不十分。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・利用を始める前に確認している。 ・事前に服薬や予防接種がある際には伝えてもらい、体調面に留意している。 ・服薬に関して変更等があれば保護者から薬の情報をいただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・アレルギーと思われる症状がある場合は病院受診を依頼し、主治医から指示書を要請している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		・大きな事故につながらないよう、実施しているがまだ件数が少ない。 ・頻繁には行えていない。 ・家族への周知がまだ不十分。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットがあった場合、職員間で共有している。 ・定期的にヒヤリハットを読み上げて、情報共有している。 ・委員会をもっと活用していく。	・大きな事故につながらないよう、実施しているがまだ件数が少ない。 ・頻繁には行えていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・事業所内や、うるま市の研修に参加している。 ・虐待研修に参加した職員が全体に振り返り研修を行い、周知させている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	・身体拘束を要する児童はいない。 ・契約時や必要と感じた場合には、児童と保護者に説明し同意を得て行っている。また、計画に記載し、記録と保護者への報告も丁寧に伝える事を意識している。	